（特定農産物運用様式第１号）

経営体→地域協議会（市町村）　提出期限：７月３１日（木）

「特定対象農産物の生産支援事業」応募シート

市町村名			
経営体名		代表者名 （法人・組織のみ）	
住所	〒	TEL	
		FAX	
対象作目名		助成対象（作付拡大）面積	㎡
対象作目名		助成対象（作付拡大）面積	㎡

※助成対象面積は、水田経営所得安定対策に加入した面積が上限です

【以下（1）～（5）を全て満たすことが必須条件です】

	チェック
（1）水田経営所得安定対策の加入者である	
（2）特定対象農産物の作付けがあり、その作付面積が18年産と比較して増加していること （助成対象面積は、水田経営所得安定対策の加入面積を上限とします）	
（3）良品質な農産物の生産をしていること （麦は1等比率、大豆は1・2等の合計比率が、農協等の出荷単位のおおむね平均以上であることが必要です）	
（4）経営面積の移動に伴い、期間平均生産面積（水田経営所得安定対策の過去実績）が適切に移動されていること	
（5）下記の技術の中から、1技術以上実施すること	

【本年度に実施する革新的技術を選択して下さい】

技術項目	技術の名称	技術の内容	チェック
①労働力配分の合理化	大豆の狭畦無中耕無培土栽培技術	大豆における中耕培土を省略する安定多収・省力化技術	
	大豆の不耕起播種技術	小明渠作溝同時浅耕播種技術	
		耕うん同時畝立て播種技術	
	麦の不耕起播種技術	小明渠作溝同時浅耕播種技術	
		耕うん同時畝立て播種技術	
	水稲直播栽培技術	ｶﾙﾊﾟｰｺｰﾃｨﾝｸﾞ等による水稲直播機（条播・点播）を用いた土壌中直播技術	
		ｺｰﾃｨﾝｸﾞ種子の動噴等による水稲種子散播技術	
		専用播種機による不耕起乾田直播技術（V溝直播など）	
	野菜の省力栽培技術	播種機（定植機）による省力化技術	
②土地利用の合理化	高度施肥管理技術	水稲の生育量並びに葉色診断（葉色板・SPAD）による適切な追肥技術	
		麦の施肥調節型肥料による生育中期の茎葉窒素濃度の安定化と葉色診断による適切な追肥技術	
	麦・大豆の作期競合回避技術	播性の高い小麦ｲﾜｲﾉﾀﾞｲﾁの播種後に晩生大豆ﾌｸﾕﾀｶを適期に収穫する技術	
	休閑緑肥の導入	水田輪作体系に地力増進作物を導入する技術	
③資本装備の効率化	耕起・施肥・播種同時作業機の導入	麦,大豆の降雨回避等適正条件下での播種等同時作業による出芽安定・省力化技術	
	多目的管理作業機の導入	稲、麦、大豆等の生産において、防除、施肥等の複数の作業を行える汎用作業機の導入技術	
		自走式の畦畔管理機の導入技術	
	汎用収穫機の利用技術	複数の作物に利用可能な収穫機の導入による低コスト化技術	

※提出期限までに、地域担い手育成総合支援協議会（または市町村役場農政主務課）へ「事業参加申請書（特定農産物の生産支援事業）（実施要領様式第8号）」とともに提出して下さい。

※「米の生産調整強化」と「経営面積の拡大」の両方で参加申請する経営体は、「参加申請面積等計算書（特定農産物運用第2号）」も提出して下さい。